

ティーチング・ポートフォリオ

大学名：大手前大学 所属：経営学部 名前：眞 瑞代 作成日：2024年01月10日

1. 教育の責任

経営学部の教員として、経営学部科目のマーケティング入門、実践演習マーケティング I（マーケティング）、キャリアデザイン I、II、現代社会学部科目のマーケティング、マーケティングリサーチを担当している。

2. 教育の理念

学生たちに伝えたいことは、まず、「建学の精神である“STUDY FOR LIFE（生涯にわたる、人生のための学び）”」、生涯学ぶことの大切さを理解し、将来にわたって、実践できるようになることを目標にしている。また、専門科目であるマーケティングを通して、学生自身も消費者、また社会人として消費者以外の役割を担い、日常の活動を通して自分自身も社会を作っていることを理解し、社会に貢献できるようになることを目標としている。そのため、マーケティング活動など、一点をとらえるのではなく、過去からの成り立ちを踏まえたうえで、今があることを理解できるように学んでほしいと考えている。そういった視野を広げる努力をすることで成長につながることを願っている。

3. 教育の方法

講義科目においては、原則として、資料等を自身で作成し、その資料に基づき、事例を踏まえて説明するなど、わかりやすい授業の進行を心掛けている。また、学んだ知識を実際に活用できるようにするため、グループワークを取り入れ、知識の習得とグループ活動による実践を行い、活動を通して、行動の成長も促すよう努めている。そして、グループだけで学ぶのではなく、各グループの良い点、課題などを共有し、履修生全体で補完することにより、学生が積極的に授業に参加できるよう努めている。

なお、市販の教科書を用いる場合は、別途、歴史や動画映像、他の事例を交えるなど工夫をし、より知識の幅が広がるように、授業を進めている。

4. 教育の成果

授業の毎回の課題を行うことで、自分たちがマーケティング活動を担っていることを実感できるようになったとコメントがあった。

また、マーケティングリサーチで、「建学の精神である“STUDY FOR LIFE（生涯にわたる、人生のための学び）”」をふまえた「大人にとっての学び」を課題にしたところ、大人になっても継続して学ぶことの大切さを実際のヒアリングやリサーチ結果を通して知り、学ぶことの楽しさと大切さを理解してもらうことができた。

5. 改善への努力と今後の目標

今後の課題は、エルキャンパスなどを活用し、学生と双方向となり、学生が主体となって、自ら調べ、まとめ、全体で学んでいく仕組みの授業を目指したいと考えている。

【添付資料】